

公共事業新規実施予定箇所

事業名	路線名	市町村名	字名等	事業概要	事業費(千円)
社会資本整備総合交付金事業	(一)磐田掛川線	掛川市	結縁寺	道路拡幅工	329,000
社会資本整備総合交付金事業	(一)山梨一宮線	森町	円田	バイパス整備	950,000
防災・安全交付金事業	(国)414号ほか	伊豆市ほか		自転車通行空間整備	150,000
防災・安全交付金事業	(国)136号ほか	下田市ほか		自転車通行空間整備	250,000
防災・安全交付金事業	(国)135号ほか	伊東市ほか		自転車通行空間整備	150,000
防災・安全交付金事業	(主)伊東大仁線ほか	伊豆の国市ほか		自転車通行空間整備	50,000
防災・安全交付金事業	(一)島田大井川線	藤枝市	大洲	交差点改良	80,000
防災・安全交付金事業	(主)焼津榛原線	焼津市	田尻	歩道整備	100,000
防災・安全交付金事業	(一)榛原金谷線	牧之原市	勝間	歩道整備	280,000
防災・安全交付金事業	(国)135号	熱海市	東海岸町	熱海1号棧道橋 橋梁耐震対策工	24,000
防災・安全交付金事業	(国)150号	御前崎市	池新田	新野川橋 橋梁耐震対策工	58,000
防災・安全交付金事業	(国)150号	磐田市	掛塚	竜洋橋 橋梁耐震対策工	49,000
防災・安全交付金事業	(国)150号	磐田市	掛塚	掛塚橋 橋梁耐震対策工	1,553,000
防災・安全交付金事業	(国)150号	磐田市	駒場	美駒橋 橋梁耐震対策工	18,000
防災・安全交付金事業	(主)伊東修善寺線	伊東市	鎌田	記念が洞橋 橋梁耐震対策工	380,000
防災・安全交付金事業	(主)富士川身延線	富士宮市	長貫	橋場棧道橋 橋梁耐震対策工	580,000
防災・安全交付金事業	(一)沼津小山線	小山町	藤曲	須川橋 橋梁耐震対策工	30,000
防災・安全交付金事業	(一)袋井小笠線	掛川市	中	花面橋 橋梁耐震対策工	215,000
防災・安全交付金事業	(主)清水富士宮線ほか	富士宮市	内房ほか	仲橋ほか15橋 橋梁補修設計・橋梁補修	800,000
防災・安全交付金事業	(主)島田川根線ほか	島田市	神座ほか	御堂沢橋ほか26橋 橋梁補修設計・橋梁補修	300,000
防災・安全交付金事業	(一)御殿場箱根線ほか	御殿場市	東田中ほか	御殿場高架橋ほか9橋 橋梁補修設計・橋梁補修	800,000
防災・安全交付金事業	(主)下田石廊松崎線ほか	南伊豆町	下流ほか	浜出橋ほか1橋 橋梁補修設計・橋梁補修	300,000
防災・安全交付金事業	(国)150号ほか	吉田町	大幡ほか	富士見橋ほか25橋 橋梁補修設計・橋梁補修	800,000
防災・安全交付金事業	(国)150号ほか	袋井市	湊ほか	太郎助橋ほか28橋 橋梁補修設計・橋梁補修	450,000
防災・安全交付金事業	(国)469号ほか	裾野市	須山ほか	二号橋ほか1橋 橋梁補修設計・橋梁補修	450,000

各事業箇所の概要等は別紙3のとおり

事業名：社会資本整備総合交付金（道路改築）事業

路線名：（一）磐田掛川線 掛川市結縁寺

1 事業概要

全体事業費：	C = 329 百万円
計画期間：	平成 29 年度～平成 32 年度
計画概要：	道路拡幅工（4 車線化） L = 1,700m、W = 25m

2 目的・必要性

一般県道磐田掛川線は、磐田市街地から県営小笠山総合運動公園（通称：エコパスタジアム）を経て、東名高速道路掛川 IC に至る路線であり、地域間交通を担う重要な幹線道路である。このうち、掛川市南西郷地区は、中東遠総合医療センターの開院や菖蒲ヶ池工業団地への企業進出により交通量が増加し、朝夕の交通渋滞が発生している。

本事業は、暫定 2 車線で供用している当該箇所を 4 車線に拡幅改良することにより、交通のボトルネックを解消し地域間交流の活性化を図ることが目的である。

なお、エコパスタジアムは平成 31 年開催のラグビーワールドカップの会場であり、本路線は掛川駅および掛川 IC からのアクセス道路となることから、円滑な交通の確保は重要である。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	第 3 次緊急輸送路	1 A
	安全な生活を実現するみちづくり	自動車交通量 1,000 台/日以上	1 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	都市間アクセスの向上	4 A
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	医療施設へのアクセス道路	1 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性	—	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね 5 年以内に事業完了	1 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償が不要	3 A
計			1 1 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：社会資本整備総合交付金（道路改築）事業

路線名：（一）山梨一宮線

1 事業概要

全体事業費：	C = 950 百万円
計画期間：	平成 29 年度～平成 32 年度
計画概要：	バイパス整備（L = 1.2 km、W = 14.5m）

2 目的・必要性

一般県道山梨一宮線（都市計画道路森町袋井インター通り線）は、新東名高速道路森掛川 IC から東名高速道路袋井 IC を経て、袋井市街地に至る路線であり、地域間交通を担う重要な幹線道路である。このうち、周智郡森町円田地内は、狭隘で見通しが悪いことから円滑な交通が確保できていない状況にある。

このため、バイパスを整備することにより、交通のボトルネックを解消し地域間交流の活性化を図るとともに、現道の通過交通の転換による沿道住民の生活環境向上が期待できる。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	—	—
	安全な生活を実現するみちづくり	交安法指定通学路（3号該当）	1 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	都市間のアクセス向上	4 A
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	路線バスの定時性向上 医療機関へのアクセス向上	3 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	ふじのくにの“みちづくり”（H25-H29）	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性	H27 事業着手準備において着手判断	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	費用便益比 2.0 以上	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元住民と十分に合意形成済	4 A
計			2 S・15 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金（交通安全）事業

路線名： 国道414号ほか（自転車走行空間整備） 伊豆市ほか

1 事業概要

全体事業費：	150百万円
計画期間：	平成28年度から平成32年度
計画概要：	自転車通行空間整備L=70km

2 目的・必要性

本事業は、「サイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”」の実現に向けて、伊豆地域でのサイクリング環境の整備として、矢羽根型路面表示を設置するものである。路面表示の設置により、自転車の走行位置の明示及びドライバーへの自転車走行の注意喚起を行い、自転車の走行環境の向上を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	ネットワーク計画・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	完成目標	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩行者・自転車分離・用地取得不要	4 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	1 A
計			1 S 9 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金（交通安全）事業

路線名： 国道136号ほか（自転車走行空間整備） 下田市ほか

1 事業概要

全体事業費：	250百万円
計画期間：	平成28年度から平成32年度
計画概要：	自転車通行空間整備L=120km

2 目的・必要性

本事業は、「サイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”」の実現に向けて、伊豆地域でのサイクリング環境の整備として、矢羽根型路面表示を設置するものである。路面表示の設置により、自転車の走行位置の明示及びドライバーへの自転車走行の注意喚起を行い、自転車の走行環境の向上を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	ネットワーク計画・自動車交通量・歩行者交通量	5A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	完成目標	1S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩行者・自転車分離・用地取得不要	4A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	1A
計			1S10A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金（交通安全）事業

路線名： 国道135号ほか（自転車走行空間整備） 伊東市ほか

1 事業概要

全体事業費：	150百万円
計画期間：	平成28年度から平成32年度
計画概要：	自転車通行空間整備L=80km

2 目的・必要性

本事業は、「サイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”」の実現に向けて、伊豆地域でのサイクリング環境の整備として、矢羽根型路面表示を設置するものである。路面表示の設置により、自転車の走行位置の明示及びドライバーへの自転車走行の注意喚起を行い、自転車の走行環境の向上を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	ネットワーク計画・自動車交通量・歩行者交通量	5A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	完成目標	1S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩行者・自転車分離・用地取得不要	4A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	1A
計			1S10A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金（交通安全）事業

路線名： （主）伊東大仁線ほか（自転車走行空間整備）伊豆の国市ほか

1 事業概要

全体事業費：	50百万円
計画期間：	平成28年度から平成32年度
計画概要：	自転車通行空間整備L=2.5km

2 目的・必要性

<p>本事業は、「サイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”」の実現に向けて、伊豆地域でのサイクリング環境の整備として、矢羽根型路面表示を設置するものである。路面表示の設置により、自転車の走行位置の明示及びドライバーへの自転車走行の注意喚起を行い、自転車の走行環境の向上を図るものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	ネットワーク計画・自動車交通量・歩行者交通量	4A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	完成目標	1S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩行者・自転車分離・用地取得不要	4A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	1A
計			1S9A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金（交通安全）事業

路線名： 一般県道 島田大井川線（藤枝市大洲）

1 事業概要

全体事業費：	80百万円
計画期間：	平成29年度から平成29年度
計画概要：	歩道整備L=140m

2 目的・必要性

<p>本事業は、県道島田大井川線と県道善左衛門藤枝停車場線の交差点改良（大洲交差点）である。当該区間は、大洲小学校及び大洲中学校の通学路であるが、歩道が未整備となっており、通学路合同点検においても要対策箇所となっている。このため、交差点改良及び歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・死傷事故率・歩行者交通量・自動車交通量・	7 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	合同点検箇所	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	4 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得済・地元の熟度	3 A
計			1 S 1 4 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金（交通安全）事業

路線名： 主要地方道 焼津榛原線（焼津市田尻）

1 事業概要

全体事業費：	100百万円
計画期間：	平成29年度から平成30年度
計画概要：	歩道整備L = 55m

2 目的・必要性

本事業は、県道焼津榛原線（焼津市田尻）の歩行空間整備である。当該区間は、和田小学校の通学路であるが、歩道が未整備となっており、通学路合同点検においても要対策箇所となっている。このため、歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・死傷事故率・歩行者交通量・自動車交通量・用地取得の見込み・	6 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	合同点検箇所・事業着手準備制度	2 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	4 A
計			2 S 1 3 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金（交通安全）事業

路線名： 一般県道 榛原金谷線（牧之原市勝間）

1 事業概要

全体事業費：	280百万円
計画期間：	平成29年度から平成32年度
計画概要：	歩道整備L=630m

2 目的・必要性

<p>本事業は、県道榛原金谷線（牧之原市勝間）の歩道整備である。当該区間は、勝間田小学校の通学路となっているが歩道が未整備であることから、通学路合同点検における要対策箇所となっている。このため、歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・歩行者交通量・自動車交通量	3 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検実施箇所・事業着手準備制度	2 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業効果	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	2 A
計			2 S 7 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(国) 135号 熱海市東海岸町(熱海1号栈道橋) 橋梁耐震

1 事業概要

全体事業費：	24,000 千円
計画期間：	平成 29 年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

2 目的・必要性

(国)135号は静岡県地域防災計画において、第1次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (第1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路に該当 (第1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」より前 (適用道路橋示方書：昭和39年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(国) 150号 御前崎市池新田（新野川橋）橋梁耐震

1 事業概要

全体事業費：	58,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

2 目的・必要性

(国) 150号は静岡県地域防災計画において、第1次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当（第1次緊急輸送路）	○
		安全な生活を実現するみちづくり		
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
		地域の生活と自立を支援するみちづくり		
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		緊急輸送路に該当（第1次緊急輸送路）	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性		「昭和55年」以降「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：平成2年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性			
熟度	事業の熟度（執行の環境）			
計				

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(国) 150号 磐田市掛塚(竜洋橋) 橋梁耐震

1 事業概要

全体事業費：	49,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

2 目的・必要性

(国) 150号は静岡県地域防災計画において、第1次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (第1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路に該当 (第1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 55 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(国) 150 号 磐田市掛塚（掛塚橋）橋梁耐震

1 事業概要

全体事業費：	1,553,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 32 年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

2 目的・必要性

(国) 150 号は静岡県地域防災計画において、第 2 次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当（第 2 次緊急輸送路）	○
		安全な生活を実現するみちづくり		
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
		地域の生活と自立を支援するみちづくり		
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		緊急輸送路に該当（第 2 次緊急輸送路）	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性		「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 14 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性			
熟度	事業の熟度（執行の環境）			
計				

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(国) 150 号 磐田市駒場（美駒橋）橋梁耐震

1 事業概要

全体事業費：	18,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

2 目的・必要性

(国) 150 号は静岡県地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当（第 1 次緊急輸送路）	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路に該当（第 1 次緊急輸送路）	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 55 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(主)伊東修善寺線 伊東市鎌田（記念が洞橋）橋梁耐震

1 事業概要

全体事業費：	380,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 31 年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

2 目的・必要性

(主)伊東修善寺線は静岡県地域防災計画において、第1次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当（第1次緊急輸送路）	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路に該当（第1次緊急輸送路）	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」より前 (適用道路橋示方書：昭和48年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(主) 富士川身延線 富士宮市長貫（橋場栈道橋）橋梁耐震

1 事業概要

全体事業費：	580,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 34 年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

2 目的・必要性

(主)富士川身延線は静岡県地域防災計画において、第1次緊急輸送路として指定されている路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、緊急輸送路としての機能向上を図る。

3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当（第1次緊急輸送路）	○
		安全な生活を実現するみちづくり		
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
		地域の生活と自立を支援するみちづくり		
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		緊急輸送路に該当（第1次緊急輸送路）	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性		「昭和55年」より前 (適用道路橋示方書：昭和31年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性			
熟度	事業の熟度（執行の環境）			
計				

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(一) 沼津小山線 小山町藤曲（須川橋）橋梁耐震

1 事業概要

全体事業費：	30,000 千円
計画期間：	平成 29 年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

2 目的・必要性

(一)沼津小山線は日あたり交通量が6,000台を超える交通量の多い路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、橋梁の耐震対策を実施し、重要路線の機能向上を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量が多い重要路線上の橋梁 (7,004 台/日)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	交通量が多い重要路線上の橋梁 (7,004 台/日)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 47 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(一) 袋井小笠線 掛川市中（花面橋）橋梁耐震

1 事業概要

全体事業費：	215,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 31 年度
計画概要：	橋梁耐震対策工

2 目的・必要性

本橋梁は、橋長100m以上の長大橋であり、大規模地震により損傷が生じた場合、修復に長期の期間を要することが想定される。
 また、現状では、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷が生ずる可能性もある。
 このため、橋梁の耐震対策を実施し、橋の機能向上を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	橋長 100m以上の長大橋 (橋長 125.4m)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	橋長 100m以上の長大橋 (橋長 125.4m)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 47 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
 （橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金事業

路線名： (主)清水富士宮線 富士宮市内房 ほか(仲橋ほか15橋) 橋梁補修

1 事業概要

全体事業費：	800,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 33 年度
計画概要：	橋梁補修設計・橋梁補修工

2 目的・必要性

<p>主要地方道清水富士宮線は、緊急輸送路として指定されている重要な路線である。</p> <p>本橋梁を含む16橋の橋梁については、平成26年度と平成27年度の橋梁点検の結果、判定区分Ⅲと診断されたため、必要な補修を実施して緊急輸送路としての機能確保を図る。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	橋梁中長期管理計画管理グループ A	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度（執行の環境）	-	
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金事業

路線名： (主)島田川根線 島田市神座 ほか(御堂沢橋ほか26橋) 橋梁補修

1 事業概要

全体事業費：	300,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 33 年度
計画概要：	橋梁補修設計・橋梁補修工

2 目的・必要性

<p>主要地方道島田川根線は、緊急輸送路として指定されている重要な路線である。</p> <p>本橋梁を含む 27 橋の橋梁については、平成 26 年度と平成 27 年度の橋梁点検の結果、判定区分Ⅲと診断されたため、必要な補修を実施して緊急輸送路としての機能確保を図る。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	安全な生活を実現するみちづくり	-	
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	橋梁中長期管理計画管理グループ A'	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度（執行の環境）	-	
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(一)御殿場箱根線 御殿場市東田中 ほか（御殿場高架橋ほか9橋）橋梁補修

1 事業概要

全体事業費：	800,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 33 年度
計画概要：	橋梁補修設計・橋梁補修工

2 目的・必要性

<p>本橋梁を含む 10 橋の橋梁については、平成 26 年度と平成 27 年度の橋梁点検の結果、判定区分Ⅲと診断されたため、必要な補修を実施して早期に措置を講じ、機能確保を図る必要がある。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	安全な生活を実現するみちづくり	-	
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	橋梁中長期管理計画管理グループ B	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度（執行の環境）	-	
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(主)下田石廊松崎線 南伊豆町下流 ほか(浜出橋ほか1橋)橋梁補修

1 事業概要

全体事業費：	300,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 33 年度
計画概要：	橋梁補修設計・橋梁補修工

2 目的・必要性

<p>本橋梁を含む2橋の橋梁については、平成 26 年度及び平成 27 年度の橋梁点検の結果、判定区分Ⅲと診断されたため、必要な補修を実施して早期に措置を講じ、機能確保を図る必要がある。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	橋梁中長期管理計画管理グループ C	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度（執行の環境）	-	
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金事業

路線名：(国)150号 吉田町大幡 ほか (富士見橋ほか25橋) 橋梁補修

1 事業概要

全体事業費：	800,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 33 年度
計画概要：	橋梁補修設計・橋梁補修工

2 目的・必要性

<p>一般国道 150 号は、緊急輸送路として指定されている重要な路線である。 本橋梁を含む 26 橋については、平成 26 年度及び平成 27 年度の橋梁点検の結果、判定区分Ⅲと診断されたため、必要な補修を実施して緊急輸送路としての機能確保を図る。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	橋梁中長期管理計画管理グループ A	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度（執行の環境）	-	
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金事業

路線名：(国) 150号 袋井市湊 ほか(太郎助橋ほか28橋) 橋梁補修

1 事業概要

全体事業費：	450,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 33 年度
計画概要：	橋梁補修設計・橋梁補修工

2 目的・必要性

一般国道 150 号は、緊急輸送路として指定されている重要な路線である。
本橋梁を含む 29 橋については、平成 27 年度の橋梁点検の結果、判定区分Ⅲと診断されたため、必要な補修を実施して緊急輸送路としての機能確保を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	橋梁中長期管理計画管理グループ A'	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度(執行の環境)	-	
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金事業

路線名：(国) 469 号 裾野市須山 ほか(二号橋ほか1橋) 橋梁補修

1 事業概要

全体事業費：	450,000 千円
計画期間：	平成 29 年度～平成 33 年度
計画概要：	橋梁補修設計・橋梁補修工

2 目的・必要性

本橋梁を含む2橋の橋梁については、平成 26 年度と平成 27 年度の橋梁点検の結果、判定区分Ⅲと診断されたため、必要な補修を実施して早期に措置を講じ、機能確保を図る必要がある。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	橋梁中長期管理計画管理グループ C	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度（執行の環境）	-	
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）